

令和8年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	高校生の地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）					
学習の到達目標	1 世界の生活文化の多様性や、防災・地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムを使って、調査や諸資料から地理に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける。 2 地理事象の意味・意義・特色・相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを説明したり、議論したりする力を身に付ける。 3 よりよい社会の実現を視野に、地理的課題を主体的に追究・解決しようとする態度を示し、自国や他国の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚する。					
評価の観点	a. 知識・技能		b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度	
	生活文化とその背景・課題について、地図や地理情報システム、諸資料から読み取り、理解している。 地図や地理情報システム、諸資料を扱って調べたことをまとめることができる。		生活文化とその背景・課題について、自分で調べたり理解したりした内容を活用して、課題の解決策について考え、説明・議論することができる。		地理的課題を追究・解決するために、主体的に取り組む態度を示している。 生活文化とその多様性を理解し、尊重する態度を示している。	
評価の方法	考查、授業の参加状況、課題（作業学習・レポート）により評価する。					
	単元		主な学習内容			
前期	1 地図や地理情報システムと現代世界 2 結びつきを深める現代世界 3 生活文化の多様性と国際理解		・地球儀や地図、地理情報システム、統計資料の読み取り・利用方法を学ぶ。 ・国家と領域、国内外の人・モノ・カネ・情報の動きや結び付きを学ぶ。 ・生活文化の基礎となる世界の地形や気候、産業・言語・宗教、各地域の生活に関する具体例を学び、自分と他国の生活文化との関わりを考える。			
後期	3 生活文化の多様性と国際理解 4 地球的課題と国際協力 5 自然環境と防災		・各地域の生活に関する具体例を学び、自分と他国の生活文化との関わりを考える。 ・地球的課題（自然環境問題や人口問題など）とその解決のための取組を学び、自分との関わりや社会の在り方を考える。 ・日本の自然環境と災害（地震や気象災害）、防災の取組を学び、自分にできる取組や社会の在り方を考える。			